

No 48	長門市立深川小学校
調査研究名	心の教育実践研究 ー 深川中学校との一貫性を構築するー
調査研究計画	本校は、平成21年度から深川中学校との連携を強化してきており、深川中校区（以下、深川みすゞ学園）にある向陽小学校とともに、交流授業や出前授業、職場体験研修などを通して15歳までにどのような子どもに育てるのか、協議を続けてきている。 その中で、小中学校の9年間の学びの連続性をカリキュラムの視点から考えることの重要性を確認した。特に、新たな生活(くらし)づくり、主体的な学びづくり、温かな学習仲間づくりへの方途の具体化を課題にした。 心の変容については、学習対象や他者とのかかわりの中での言葉の変化や行動の変化と多くの教職員の評価情報から分析・精査する。
	深川中学校との心の教育における一貫性と重点化
	(徳) 子ども像 ふれあいで磨き合う子 ・礼儀正しく、接する子 ・相手の気持ちを察する子
	心の教育(一貫性) ・お互いを尊重し、認め合える子 広い心・温かい心(重点化)
	9年間のつながる心のカリキュラム 向陽小学校との連携 深川中学校との連続 1～4年生(前期) 子ども像 5～7年生(中期) 子ども像 8・9年生(後期) 子ども像 主体的な学びづくり 新たな生活づくり 温かな学習仲間づくり
	研究計画内容 1 授業における子どもの言葉と行動の変容 見取り方研修(授業記録, 抽出児の変容, 学級内の人間関係) 学習意欲の喚起方法, 子ども理解の方法(多面的・多角的な評価情報) 2 先進校視察・研修会の授業参観, 研究協議(授業づくり・学級づくりの復命) 3 指導者を招聘した研究授業の実施(子ども自身の成長感とかかわり感) 4 深川中学校との研究交流会・合同研修会・公開授業等で協議(つながる学び)
授業研究・研修等の公開など研究成果の還元方法	
○他校等の研修会参加の報告会(校内共有) ○深川みすゞ学園(深川中ブロック)での合同研修会での授業公開・研究発表 ○深川小校区内での取組発表(幼保小連携) ○学校運営協議会における情報提供・協議内容 ○校内研修会における授業公開・研究発表(市内小中・市教委員会への案内, ケーブルテレビへの連絡) ○学校ホームページや学校だより等での取組紹介・成果報告 ○指導計画と授業記録, 考察の公開 ○研究実践集録の配布(市内小中学校, 市教育委員会, 学校運営協議会委員)	